

萩生田氏 大軍拡迫る

軍事費「2%でも足りない」

自民党の萩生田光一
政調会長は17日の衆院
予算委員会で、軍事費
の国内総生産（GDP）
比2%以上への増額に
関し、国債で賄うとの
議論を念頭に、「2%
では足りない。政治の
意思で2%に向けて予
算を真水（国による直
接の財政支出）で増
額し、必要な防衛力
を装備していくこと
について総理の覚悟を
伺いたい」と述べ、岸
田文雄首相に大軍拡を
迫りました。

萩生田氏は「国力と
しての防衛力を総合的
に考える有識者会議」
について、「財源の議
論ばかりが目立つ」な
どと苦言を呈して、「ど
ういう防衛力が必要か
裏面目を探み上げたら
2%では足りない」と
主張。岸田首相は「内
容、予算、財源の三つ
を一体的に議論してい
く」と述べると、あま
りませんでした。

萩生田氏はまた、北
朝鮮や中国が軍事的挑
発を繰り返していること

とをあげ、「必要なものは言葉でなく抑止力だ。撃つなら撃つぞ」という能力を明確に示すことでわが国へのミサイル攻撃を抑止することこそが、国民の命と暮らしを守る道だ」として敵基地攻撃能力の「反撃能力保有についての覚悟」を質問。岸田首相は「いわゆる反撃能力を含め、あらゆる選択肢を排除せず現実的に検討を加速している。与党間協議もふまえて年末までに結論を出す」と答えました。

さらに萩生田氏は、「わが国が、相手が侵略を断念するまで侵略を排除し続けるだけの継続能力を持つことが今求められる」と主張。自衛隊の施設整備などを求めました。岸田首相は「継続能力の維持は大変重要」などと述べました。